



●HPの掲載 「負傷者はどこだ？ 展望台から情報を入手しよう」

~~~~~

【2017年9月29日 12:00】

Hello! こんにちは。キャプテンBSです。

今回は、手旗をどのように使うかの話です。

「山に登れ！ 展望台で負傷者の場所が分かる。見つけてください」と指令書に書かれていますが、負傷者がどこにいるのか書かれていません。展望台に行けば、そこにヒントがあるらしいです。手旗の相手はどこにいますでしょうか。展望台にはいないと思います。「えー、じゃあどこにいますか」と思いませんか。どうなるのでしょうか。ここまではお伝えしてもいいそうです。皆さんはどう思いますか。とにかく、お楽しみです。

それで、手旗を使うかもしれません。手旗を知っていないと負傷者の位置はわからないでしょうね。だから、手旗はどのように使うかだけ説明しておきます。現地で考えてください。

手旗は、右手に赤色、左手に白色の旗を持って、カタカナの形を線で示します。それを読み取ることで相手に伝えることができます。1文字ずつ伝えます。難しいですよ。慣れれば簡単です。どこが難しいかというと、相手を見ながらサインを送りますから。文字は相手が見えるように打ちます。つまり、自分は反対向きに形を伝えないといけません。

もう一つ難しいことは、手旗の相手はどこにいますでしょうか。展望台から探すと相当遠いところですよ。手旗は見えるのでしょうか。遠いところを見えるようにする道具が要りますね。どうするのでしょうか。

道具があったとして、あなたは手旗を読めますか。まだ読めませんよね。知らないですから。読むだけなら何とかできますか。当日までに練習すればできるかもしれません。簡単な文字はわかりますよ。「ノ」とか「へ」とか「リ」です。まだ、「ハ」、「フ」、「ニ」、「レ」、「ク」もあります。少し役に立つかもしれません。

「カブスカウトは たがいになすけあいます」と前回言いました。みんなで協力する時に、読み取った文字をメモする担当も必要ですから、役割分担すれば、答えが見つかりますね。全員で頑張ってください。

もし、手旗で行き先が分からなかったら、レスキュー隊は負傷者を助けることができません。でも、心配いりません。班の中で手旗が得意な隊員がいます。

大丈夫です。

次は、10月1日です。テーマは、「負傷者は崖の下にいるぞ！ ロープで助けよう」です。お楽しみに！